



同窓会報

平成16年2月23日
第54号

2004

発行所 / 〒963-8052
福島県郡山市八山田二丁目224番
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
☎ 024 (932) 1199
FAX 024 (935) 9849

発行者 / 増子 久治
編集者 / 渡辺 正一
発行部数 / 17,000部



郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

CONTENTS

会長あいさつ	2
学校長あいさつ、新会員のことば	3
平成15年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集(ノーザンピークス郡山)	7
母校近況	8
(生徒会だより、部活動大会成績報告)	
母校近況(進路状況)	9
平成14年度決算報告・基本金報告・会務報告	10
平成15年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
総会風景・事務局だより	12

同窓会定期総会開催のお知らせ

平成16年度定期総会を下記のように開催いたします。

- 日 時 / 6月12日(土) ● 午後5時00分より 総会
● 午後5時45分より 懇親会
- 場 所 / 郡山ビューホテルアネックス
郡山市中町10-10 ☎(024) 939-1111
- 会 費 / 5,000円(平成15年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由です。同窓生、同級生、会社の同僚等お誘いあわせのうえ多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。
(参加希望者は、同封された払込取扱票の通信欄の総会会費に○をつけて会費を納入ください。)

会長あいさつ

同窓会会長 増子 久治



同窓会員の皆様には、ご健勝にて活躍されている事、お喜び申し上げます。

常日頃より会員の皆様には同窓会活動にご協力、ご支援いただき衷心より感謝と御礼申し上げます。昨年は世界中の人が平和と安全を願っているのは裏腹にイラク戦や、パレスチナ問題、テロ等々、世界各所において紛争が起き何事にも替難い貴い人命が、失われ残念でなりません。同じ血の通った人間、相互理解で、仲良くできないのでしょうか。

又、国内に於いても、北朝鮮拉致や、イラクへの自衛隊派遣、将来に明るさの見えない経済環境の悪化により、中小企業の破綻のみならず、大企業の倒産も日常的に発生し、多くの人が失業する、又、倒産を回避する為、多くの労働者をリストラする企業も多数有りました。郡山に於いても市を代表するデパート、ホテルなども倒産した一年でありました。最近になり明るさが見えて来たと政府より発表になりましたが、地方まで明るさが伝わるのは、いつになるでしょう。

この様ななか、卒業し同窓会新会員となられた皆様には、同窓会を代表し、心から歓迎申し上げます。厳しいなかでの出発では有り

ますが、本校同窓会の一員として責任ある行動と常に前向き姿勢で、一度や二度の失敗に挫けず、本校で学んだ3年間を無駄にするのではなく、最大限、有効に利用できる様、欲張りかも知れないが人に頼られ21世紀のリーダーとなる事を、願ってやみません。これからの活躍に期待します。今回は、本校校名について述べてみたいと思います。

昭和52年に前身校でありました郡山工業（S19年創立）、郡山西工業（S38年創立）、両校が昭和52年に統合され郡山北工業となったのは全会員の皆様ご承知の通りですが、ただ、校名が変わり今日に至っただけであれば、なんでもない話なのかも知れません。しかし、統合される当時、県当局、同窓会並びに学校関係者の間で校名を巡りかなりの激論が有ったと後日多くの同窓会関係者より耳にしました。校名が論じられている頃、私は同窓会活動に携わっておらず、新聞記事によって知る程度であり、郡山工業や安積工業などの名称が候補にあがっていた様に記憶しておりますが、最終的に現校名になったくらいのものでした。その後、故人となられた本校一期生（S24年度卒）で、同窓会発足より事務局長を長く務められた廣江力男先生の誘いで同窓会に参加する様になりました。同窓会に出席して最初に感じたのは、若い人の参加は以外と少なく、私と比較して恐縮ですが、郡山工業を卒業された先輩の皆様と本校に於いて、教鞭をとられた先生方が大部分であり、若い人は、郡山西工業を卒業され

た同窓生（西工業一期生は私と同級生）でありました。その様ななか、校名について燻っており、郡山工業、西工業双方の意見の対立している事に驚き、私自身も深く考えさせられました。

当時の同窓会長は、事務局長と同じ郡山工業一期卒の渡辺達英氏でありました。当時の会長、事務局長は、単に役職上のみならず、本校の礎となった、前身郡山工業高校が戦後廃止が懸念された当時、父兄、先生方、多くの皆さんと協力、市当局や市民は勿論県当局、各関係者に学校存続を訴え、さらに独立校舎建設に街頭募金まで行ない、学校存続さらに独立校舎建設両方とも実践し、優秀で真面目と認められた人材を数多く育て上げた実績を持つ学校として、統合され、その当時全国工業高校で有数との表現されるに至っただけに2人を始めとする当時の同窓生や関係者の皆さんの学校に対する思いや情熱には並々ならぬものがあった様に感じられました。

それと比較する訳ではありませんが、郡山西工業は、戦後の第一次ベビーブームの影響で急遽新設された感の有る学校であり、校風にも少なからず異なりはありました。しかし、同窓会は一つになったのですから、お互い理解し、自分たちのみならず、これからの学校を卒業する人や、この学校を目標として、後に続く人達の事を考えて発言するなら素晴らしいのですが、一部の皆さんが、ただただ感情論に終始され、お互いの学校に対する対立論みたいな話になり、失望した時もありました。また、渡辺達英氏の話では、仮称郡山北工業で、出発し、一年か二年で北を外す考えであったとも聞きました。

た。その様ななかで、私は、毎年毎回のごとく総会の席上、校名変更について緊急動議を提出しましたが、前述の様に一部の方々の反対に依って否決されました。

その後、平成元年より、先崎一郎氏が、会長となられ、会長のお供で各支部の総会に出席する機会が有りました。帰りの車中で、出席者と校名について話し合いました。何故なら、総会に出席して、必ず話題となるのは、校名についてであり、その話をする皆様は非常に熱心で母校愛の強い方々でした。

このままの校名では駄目ではないか、理由や意見も頂戴しました。その皆様の話を聞くと私自身が考えていた事と大差が有りませんでした。その一部を紹介させていただきます。まず第一に、本校は、郡山市は勿論福島県を代表し東日本でも規模設備等有数の工業高校で有るのになぜ名称に北が付くのか、郡山工業創立から、数える学校歴史として30数年、さらに卒業され活躍している郡山工業、郡山西工業両校の皆さんの実績が認められないのではないかと、県外では郡山市がどこに位置しているか判らない人が多いなか北が付いているとその都市を代表する学校のサブ校として見られるのではないかと、なかには会員企業を本校進路関係者やPTAが訪問されたが、総務より別な学校と見られ歓迎する場に出席する事ができなかった等々でした。

その頃、郡山に於いても同窓会関係者の間で校名がこのままで良いのか度々話題となっておりまして。

その為、校名について一度会議を持つと、先崎会長より平成5年7月13日校名変更委員の委嘱状

を受け、市内ホテルに於いて、約10名の関係者の皆さんと会議を持ちましたが、これもまた、前述しました構図によって否決されました。なぜ、自分たちの事でなく、多くの同窓生の皆様の第一に考えていただけなのかわかりませんが、校名について出来るだけ触れない様にしてきました。なぜ今頃その様な事を言うのかと思われる皆様がおいでになるかも知れませんが、福島県立高校全校で、男女共学化が進行しており、それも間もなく終わろうとしております。今日まで、本校より長い歴史のある女子校がすべて校名変更を余儀なくされております。この問題が、一段落した後では校名変更の話はしにくい為です。

郡山市内にただ一校となった工業高校であるにもかかわらず、このまま北を付けておき、良いのでしょうか。過日、校名変更を強硬に反対した数名の方と話をしましたら、皆さん様に現況を踏まえての発言だと思いますが、「北は必要ないのでは、今だから言える。」でした。その皆様も頭髪薄く白く孫の進路を考える年代でした。同窓会、在校生、父兄、学校関係者が、一体となり、もう一度真剣に考えていただきたい。今なら出来る。私も会長5期目ですが、少々長すぎた様です。

終わりに、同窓会にご寄付いただきました皆様にお礼申し上げます。会員各位のご活躍とご健勝あわせて会員関係企業の益々の発展を祈念し、少々私情が入ったかも知れませんが、お詫びし筆を置きます。

学校長あいさつ

校長 根本源太郎



同窓生の皆様お元気でしょうか。赴任して間もなく一年目を迎えますが、この間郡山での総会や東京、水戸での支部総会で増子会長さんはじめ多くの同窓生の皆さんと親しくお会いすることができました。特に会長さんには母校の教育活動に様々な形でご支援いただき感謝申し上げます。

さて、上野の精養軒では首都圏で活躍されている方々が集まられました。高校時代を懐かしがられ、話が弾みました。上京された時代からの様々な話題で盛り上がりました。

「ああ上野駅」の時代、黒磯から直流電気機関車の時代、そして新幹線の時代と。また経済・社会環境も戦後の復興期、高度成長期、日本列島改造時代、オイルショック時代、円高不況、バブル崩壊、そして失われた十年時代と激変する戦後の歴史の中で、技術立国日本の礎から貢献された同窓生の皆さんの逞しい姿がありました。

水戸支部でも多くの同窓生の皆様から日立今昔物語をお聞きしました。その昔は、日立海岸工場、東海工場、勝田工場、水戸工場とそれぞれが日本を代表する事業所、そして現在は組織もずいぶん変わりましたとのこと。「仕事ばかりやるな。趣味を持って。部下を大切にしろ。出張先の会議では本音は出さない。酒を飲み交わし本当の話を聞け。現場が大切。そして健康には気をつけよ。」先輩が後輩へと力説されていました。「日立では毎日がプロジェクトXです。」とのことでした。

また同支部では、建築科の同窓生の皆さんが水戸県庁の建築分野の仕事で活躍されていました。同窓生の皆様の一生をかけた仕事ぶりは、日本の戦後における工業の歴史そのものであり、工業教育に携わる教師にとっても、また生徒にとってもたいへん勉強になるのではないかと思います。外部講師講座等でご支援いただければ幸いです。

もう一つ印象的なお話がありました。「ある先生の厳しい授業」のことです。その先生は、夏休み等に日立等の工場現場で卒業生と一緒に、溶接等機械の

研修をされていたそうです。それだけに授業は的確で、日々の仕事の礎を工業高校で学ぶことができ、その先生に感謝されているとのことでした。

ところで在校生のこの一年間の活躍の姿をご報告します。十七年ぶりのサッカー県大会決勝戦、すばらしい応援でしたが、福島東に惜敗しました。県高校新人体育大会では、男子が陸上競技、バレーボール、ソフトボール、弓道の各競技で優勝しました。なかでも弓道は二十一年ぶりとのことでした。囲碁将棋部も全国大会へと出場し、またパソコン甲子園ではCGの部で全国三位に入賞し、経済産業省主催のプログラミングコンテストでは最優秀賞で経済産業大臣より表彰されました。多くの生徒が自分の持てる能力をフルに発揮すべく努力された成果であります。この勢いを自己実現に向けて生かせるよう支援していきたくと考えております。

北工生は、今正に輝いています。これからも、同窓生の皆様の益々のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

新会員のことば

電気科 遠藤登志夫



三年間の高校生活を締めくくる卒業が間近に迫る今、郡山北工業北工業高等学校同窓会に入会出来る事を大変嬉しく、また、誇りに思います。

今年度も長引く不況の影響で求人数が少なく、大変厳しい就職状況であります。何度も就職試験を受けた末に内定を頂いた生徒は多数おります。不合格でも最後迄頑張つて内定を勝ち取る事が出来たのは、「技術者」として必要な知識や態度、心構えを教えて下さる先生方や先輩方の存在があります。

殊に、先輩方の技術者としての御活躍は、「北工ブランド」の更なる躍進をもたらし、我々の就職への道を切り開く事にもなっております。

四月からは厳しい競争社会の中で生きていく事になります。失敗や挫折があるかと思いますが、その時は先輩方の御指導よろしくお願い致します。我々は先輩方のように世の中、そして北工の後輩達への貢献が出来るよう、日々邁進していくつもりです。

パソコン甲子園

福島県、会津大学などの主催による「パソコン甲子園2003 全国高等学校パソコンコンクール」のCG・コンテンツ部門で、本校機械科2年の関野政隆君と小山洋平君の作品が見事3位に入賞しました。パソコン甲子園2003はプログラミング部門とCG・コンテンツ部門が行われ、CG・コンテンツ部門は「2020年ハイスクール」というテーマをもとにwebブラウザで閲覧可能なデジタルコンテンツを作成し、本選では作品を活用したプレゼンテーションを行いました。

二人の作品m.o.c.i(モックは、学校にロボットがやってきたらどうなるだろうと考えて制作したものだそうです。受賞について二人は、「まさか入賞出来ると思っていなかったのですが驚いています。最初から『賞ではなく観客の皆さんを楽しませたい』と思いついていたからです。実際本選で観客の皆さんが笑っていたので楽しませる事は出来たと思いますし、当初の目的を果たせたいという思いで出来ました。最初は『あの作品で』とも考えましたがやはり嬉しいものは嬉しいです。このような場を用意して下さいました。パソコン甲子園の実行委員の方々、諸関係者の方々に感謝しています。」と話してくれました。



平成15年度 同窓会定期 総会報告

場であるとの話がありました。また、郡山市に現在ただ一つの工業高校になったことに、大いなる自覚を持って望んでいく必要があるのではないかと述べられました。今年も会員の親睦をはかるためのゴルフ大会を総会に先立って開催したことが報告されました。

「学校長挨拶」

学校長根本太郎氏より、同窓会定期総会開催に対してお祝いの言葉を戴きました。また、昨年同窓生が2万名を越えたが、今年も化学工学科が学級減となり一学年8クラスとなったこと。また、本年も就職がかなり厳しいことが予想されるが、同窓生のご活躍のおかげで昨年はほぼ就職の目標は達成されていることなどが報告されました。学校の現況としては、部活動では昨年に引き続き活躍が目立ち、特にラグビー部は県大会の決勝まで行くという快挙を達成し、初の東北大会出場をはたしました。最後に本校へのご支援等をお願いしご挨拶とされました。

「開会の言葉」
同窓会副会長宗像俊郎氏が、同窓会定期総会の開会を宣言しました。

「会長挨拶」

同窓会会長増子久治氏より、ご出席の皆様、同窓会に対するご理解とご協力に対して御礼が述べられました。そして定期総会は、年齢も立場も異なる人たちが同じ場所に集い、母校の話題をきっかけにして自由に語り合える貴重な

「議長選出・書記任命」

事務局一任となり、事務局長の渡辺正一氏より、議長には西工43年度電気科卒の伊勢野敏雄氏と北工52年度電子科卒の本田文一氏、書記には北工58年度機械科卒の阿部文康氏が提案され承認されました。



「議事」

平成14年度庶務報告は、事務局長の渡辺正一氏より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告、および職員の平成14年度転出者と平成15年度転入者に関する報告がなされたのち、質疑を経て拍手をもって承認されました。

平成14年度決算報告は、事務局の浦山敏氏によって行われ、会計監事の中村弘氏による会計監査報告ののち、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成15年度事業計画案は、事務局長の渡辺正一氏より提案され、質疑を経て拍手を持って承認され

ました。

平成15年度予算案は、事務局の浦山敏氏より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

役員改選については選考委員会を開催するため選考委員を選任し、別室にて選考した結果新役員案が提示され、拍手を持って承認されました。新役員は次の方々です。

- 会長 増子 久治 郡40定電(再)
- 副会長 滝田孝太郎 西42電(再)
- 古川 弘 郡40建(新)
- 添田善一郎 北53工化(新)
- 加藤 和太 郡26機(再)
- 中村 弘 西49電(再)
- 笹山 忠昭 北53機(再)



最後に今まで同窓会にご尽力いただいた方々に感謝状を贈呈しました。

- 前日立支部長 荒木 勉様
- 東京支部長 小野寺昭様
- 東京支部事務局長 山口輝光様
- 前相談役 渡辺憲一郎様
- 前同窓会副会長 宗像俊郎様
- 前同窓会副会長 大谷元宏様

「閉会の言葉」
同窓会副会長滝田孝太郎氏が、同窓会定期総会の閉会を宣言しました。



「懇親会」
同窓会副会長宗像俊郎氏の開会宣言のあと、同窓会会長増子久治氏の挨拶、ご来賓を代表し学校長根本太郎様、同窓会相談役植田英一様、PTA会長佐藤一彦様よりご祝辞をいただき、教頭和田一郎様の乾杯のご発声により祝宴に入りました。参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。



支部だより

東京支部



東京支部長
小池 芳光

はじめまして、東京支部長に就任しました小池芳光（27年度機械）です。よろしくお願ひ致します。

東京支部は、去年6月28日（土）上野精養軒において隔年開催の総会と懇親会を実施しました。

母校の根本校長、本部同窓会の増子会長、浦山事務局次長、日立支部の古川支部長、水戸支部の八代支部長、山崎顧問と各位のご来賓をお招きし、54名の出席者となり盛会裡に終えることができました。

本総会では、まず、大きな変化として、役員改選で半世紀振りに支部長が交代しました。

小野寺前支部長は、支部創設以来50年を超える長期間、同窓会維持発展のため精力的に牽引役を果たされて参りました。今後は顧問として、更にバックアップの任に当って頂いています。役員総数19名、2年の任期でスタート致しました。

次に、支部規約を制定しました。

内容は、今まで実行してきたことを明文化したもので、「会員相互の親睦を図るとともに、母校の教育振興発展に協力し、本部及び他支部との交流等を図ることを目的とする」としています。

そして、日常活動は支部長、事務局長と会計で構成する「三役会」で行っています。

早速、支部の実態を把握するため、本部の協力を得てITによる名簿のデータベース化に取り組みました。

東京支部は、東京都と隣接の埼玉、千葉、神奈川3県の在任者をテリトリーとしています。

そこで、本部から会員に郵送している同窓会会報の通信可能者データを入手し、把握した人員は1058名となりました。

校別に見ると、郡工735名、西工194名、北工129名。

地域別では、東京240名、埼玉271名、千葉193名、神奈川354名の構成となっています。

年次毎の名簿にも展開してありますので、これらの資料を基に今後の活動を展開していくつもりです。

支部総会の出席者を、ここ10年5回分の傾向で見ると、80名から最近では60名前後で推移していて、特定の年次に片寄った傾向が見られます。



一方、同窓会員の総数は現在2万名を超える規模となっており、今後増加の一途を辿っていきますので、同窓会活動も年次や企業をベースにした運営へとウエイトを移していくことも検討しなければと思っています。

先の話になりますが、次の総会は平成17年6月下旬を予定しています。

連絡のとり方も案内状に限らず色々考えたいと思っていますが、連絡の取れていない方を、ご存知の方は是非事務局までご一報ください。

今年も、同窓会活動の目的実現のため、更に革新的な活動を推進して参りたいと思っています。

最後になりましたが、同窓会役員はじめ会員皆様の日頃のご協力に感謝するとともに、母校並びに同窓会本部、各支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念いたします。

日立支部



日立支部長
古川 秀康

昨年は「変化」と「激動」に晒された厳しい年ではなかったかと思えます。特に、我々の暮らしを支えるエネルギー産業分野でも夏場の電力不足懸念、広くは北米での大停電が発生し、一方ではイラク戦争やイラン問題など世界中を巻き込んだの混乱が生じ、今なお続いています。ビジネスに直接関与している者としてどう対応していくか、と

グローバル化の急進とデフレ基調という環境は暫くは続くであろうことを認めざるを得ない状況でありますし、このような時だからこそ我々は何事にも常に目的を明確にし、明るく前向きに取り組んでいく必要があるのではないかと思います。

さて平成15年度の日立支部活動について報告致します。

去る6月7日（土）に開催された本部総会には荒木顧問、小池顧問、白岩、加藤の4名を参加させて頂きましたが、総会の中で、我が日立支部の荒木顧問（前支部長）が長年に亘る支部活動運営と同窓会発展への功労を称えられ表彰されたとのこと、支部会員一同喜びに耐えません。当日は、私も参加する予定でしたが、業務上の都合で欠席せざるをえず、関係者に多大なるご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。次回は是非共参加したいと思っております。

日立支部総会は6月20日（金）に実施しました。当日は学校側から和田教頭先生をはじめ、同窓会本部から増子会長、渡辺事務局次長、さらには東京支部から小野寺支部長、水戸支部から八代支部長及び橋本副支部長の皆様方多数の来賓をお招きし盛大に開催しました。

第一部の総会では一年間の活動経過報告及び今後の支部活動



方針と計画に関する内容について討議を致しました。特に、今回は当初計画しました会員相互の情報交換を容易にするためメールアドレスの名簿への併記、充実を図りましたが、個人情報ゆえ今後の取扱い方法に工夫が必要なこと及び支部長不在時の対応方法等について議論をしました。第二部の懇親会では来賓の方々よりご挨拶方々、母校の文化、体育系での活躍を含めた現状や今後の動向、各支部の状況などの報告を頂きました。本部でのホームページ開設は時代に即した活動の成果であり、今後の一層の充実を期待したい。懇親会では、故郷での最新の話題、他支部との情報交換そしてレジャーや趣味の話と多岐にわたって広がり、盛会な内に終了することができました。一方、昨年も東京支部及び水戸支部総会にご招待を頂きいろいろ会話をさせて頂きました。同窓会支部の活動のあり方、運営の難しさを痛感した次第です。支部活動としては、少し低調さみでしたが、年末におおみか地区でOBを含めての忘年会を実施しました。高齢化に伴い話題としては、年金の話、インターネット活用術、はたまた家庭菜園等々に花が咲き盛り上がりしました。日立支部も新規会員が減少し、高齢化してきておりますがOB諸先輩を含めた同窓会の盛り上げと母校及び本部活動への

協力を是非共維持していきたいと考えておりますので今後とも宜しくお願い致します。今年の元旦は、久方ぶりに雲一つない太平洋の水平線から昇る素晴らしい初日の出を見る事ができました。黄金に光り輝く太陽の顔を出すのを見て、暗い夜は続かないのだということに改めて実感し、新たな年を迎えたことをお伝えし報告とします。

水戸支部



水戸支部長
八代 正雄

平成十六年の新春を迎え新年あけましておめでとうございませう。

昨年の国内外の政治、経済はテロの頻発をトップに、銀行の経営破綻、青少年の犯罪、事件事故、相変わらず景気の低迷によるリストラ等深刻な暗いニュースばかりで将来への希望が持てない一年でありました。

我が同窓会はこれらにとらわれることなく所期の目的を持って常に着実な前進を図りたいものです。

さて、平成十五年度の水戸支部の活動について報告致します。



- 六月七日 本部総会出席。
(八代支部長、山崎顧問、曾澤理事、渡邊理事)
同日のコンペに二名参加。
(八代支部長、山崎顧問)
- 六月二十日 日立支部総会出席。(八代支部長、橋本副支部長)
- 六月二十八日 東京支部総会出席。(八代支部長、山崎顧問)
- 九月二十七日 デイスクゴルフ&バーベキュー大会開催。
常陸海浜公園内にある芝生のグラウンドで開催した。参加者二十八名で夫々のブロックチームに別れ三回戦を行いました。
ディスクが思うように飛んでいかずなかなか難しいなか水戸ブロックの山崎顧問チームがめでたく優勝され、ほどよい汗を流し終わって楽しみのバーベキュー大会を行いほろ酔い気分で大いに楽しめました。
- 十一月十二日 第一回親善ゴルフ大会開催。

ルフ大会開催。
常陸太田市のグラウンドスラムカントリークラブで開催した。三組の申し込みがあり終日楽しくOBあり、パーあり、バーディーあり和気藹々とゴルフで懇親を深めました。

● 十一月十五日(土) 平成十五年度水戸支部総会開催。
ご来賓に根本学校長、増子会長、浦山事務局次長、小池東京支部長、古川日立支部長 計八名、会員二十八名の参加を頂きひたひたの堀口クラブで盛大に開催致しました。

第一部総会では、活動報告、会計報告、十六年十七年度の行事予定とブロック支部改選(水戸ブロック↓工機ブロック担当)、一部会則改定等審議、承認されました。

第二部の懇親会では、根本学校長、増子会長、浦山事務局次長、小池東京支部長、古川日立支部長の来賓の方々から母校の現況報告、今後の動向、各支部の現況の報告等貴重なご挨拶を頂きました。そして、母校の思い出話や故郷の話、個人の趣味の話など尽きることもなく交換し、懇親会も盛会に終了し、二次会へと行き日頃の鬱憤をカラオケで晴らし散会致しました。

最後になりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

解体工事から土木工事
21世紀を見つめる企業

県知事許可(般-14)第18372号 県知事許可第0702018305号

SHINTAKU 株式会社 新 拓

代表取締役社長 佐藤 吉雄
(昭和44年郡建定)

郡山市安積町荒井字加正36-2
TEL (024) 945-0801 FAX (024) 945-9718

弱電部品製造・精密金型製造、販売

株式会社 ザイン

代表取締役 鈴木廣哉(昭和40年度 機械科卒)

本社 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字前物打57-1
TEL 024-934-0699 FAX 024-922-7403
URL http://www.sein-gr.co.jp/
E-mail: info@sein-gr.co.jp

財迎香港有限公司 香港九龍尖沙咀赫德道8號26樓C室
TEL 852-2314-3735 FAX 852-2314-3731

雁田財迎五金電子廠 中国廣東省東莞市鳳崗鎮雁田管理區鎮田北路42號
TEL 86-769-7770958, 7770959 FAX 86-769-7770948

最新設備の工場で、より充実したメンテナンスをめざします。

民間車検場

教職員共済・全労済・自治労共済 指定工場

株式会社 三善自動車工業

年中無休 24時間対応

〇本 社 郡山市富久山町福原字中田14番地
代表取締役 渡辺善二郎 TEL (024) 922-5088(F) FAX 922-5625
(昭和41年度機械科卒) 〇飯釜塗装部 郡山市富久山町福原字中3
TEL (024) 922-5226 FAX 922-5240

特集 ノーザンピークス郡山

昨年天皇杯サッカーの福島県代表になった北工OBチームを紹介いたします。

「ノーザンピークス郡山のおいちち」

前郡山北工サッカー部監督 仲本 武司

企業スポーツの低迷の中、サッカー大好きな北工サッカー部OBたちは、ばらばらにサッカーを求めて道場破りみたいにあつちこつちで暴れまわっていました。

そんな中、フェアプレー精神を重んじ、社会人としての自覚を持った北工サッカー部を軸に、OBを中心としたサッカーをやれないかという仲間が何人も出てきてチーム編成が動きだしました。折りよく、佐賀君、水野君が県リーグを引退するのを機に、プレイングコーチとして中心にすわり、OBだけでチームを編成することができました。「ノーザンピークス郡山」は北嶺クラブのトップチームとして、その役割は大きな期待の中にスタートすることになります。

平成10年、目標の県リーグは待機、しかしクラブチームによる大会があり、トントン拍子に勝ち上がり、県代表として全国大会に出場。チームのまとまりは一気に盛り上がりました。私の方針もあり、北工サッカー部は選手勧誘をせず、希望した者で頂点を目指すということ。毎年何枚かの駒不足で3年間では仕上がらないというハンデを背負い、惜しいところで全国大会への出場をはばまれていただけにこの全国大会出場はより大きな夢を与えてくれました。

2年目は3部リーグ、3年目は2部リーグ、4年目はついに1部リーグへの昇格を果たすことができました。この頃になると相手も強

く、遊び半分では勝てなくなり、仕事や家庭との両立が大変になってきました。いろいろとトラブルが生じたり、悩みも出たりしましたが、逆に社会人としての自覚も芽生え、フェアプレーの精神も理解し、大人のチームとしての存在感が出てきました。

このチームは、発足当初から現役高校生との練習試合を毎週のように行えるという利点があり、スタミナの強化をはじめチーム力の強化には恵まれました。また現役からみれば、OBのすばらしいプレーを実際に目にし、対戦できることは、レベルアップに大いに役立ちました。OBはスタミナをもち、現役は技術をもち、という相乗効果は、お互いを力強く育てあげ県内随一の環境とチームをつくりあげることができました。

監督 松立 文雄

最後に、ここまで御協力くださった学校をはじめ、同窓会、そして現役高校生に感謝申し上げます。

ノーザンピークス郡山がクラブチームとして設立して6年目になります。同一高校OBのチームは県内外にも珍しく、また週1回2回の練習で県のトップになれたことは関係者の方々も驚かれたと思います。初年度は県クラブ選手権、4年目で社会人サッカー選手権、そして6年目の昨年は天皇杯全日本サッカー選手権の県代表となりました。これも母校である北工のグラウンドを、ホームグラウンドとして利用させていただき現役との合同練習のおかげであり関係者の多大なる御協力には深く感謝いたします。昨年から昇格して優勝、東北リーグ2部に昇格し山形、宮城と他県への遠征試合も多くりましたが、成績は4勝2分4敗の3位と良い成績で終

わることが出来ました。県リーグ、東北リーグには必ずホームグラウンドが必要で。特に東北リーグは芝のグラウンドを確保しなければならぬ苦勞して福島空港グラウンドをホームグラウンドとしました。出来れば市内の芝グラウンドをホームにしておりまして、今年からは西部スポーツ広場を利用できそうです。また、遠征試合も多く選手全員が会社員であり、家庭を持つている者も多く、時間をとることも難しい中、家族の理解と協力無くして出来ません。みんなが良き幸せな家庭を築いて家族や会社に信頼されているから活動してきかたが今後の社会や人生の励みになればと思います。昨年はこのチームに普段ではなかなか味わえない感動を私自身も味わわせてもらいました。今年も皆さんと一緒に感動したいと思っております。

昨年1年間を振り返って思う事、それは東北リーグ2部昇格、天皇杯県予選優勝、そして全国大会。自分にもチームにも貴重な経験をできる事ができました。

チームを発足したのが6年前、北工のOBで強いチームを作ろうというのが目的でした。集まったメンバーは気心のしれた仲間、個性の強い後輩や年齢が5つ以上の先輩と、様々な人たちでした。その中でキャプテンをまかさされ、チームをまとめるのがとても大変でした。年齢の差からサッカーに対する考えも人それぞれ。個性が強いいため意見の相違で衝突することもたびたびでした。毎年新しいメンバーも加わり本当に自分で大丈夫かと考えたこともありましたが、週1回の練習も社会人ということもあり、全員がそろうことはあまりなく練習量も少ないため、体力的にも組織的にも厳しい状態でした。高校の時とは違って、練習メニューも自分たちで決めるので、毎回苦勞していました。しかし、今思えば衝突したり話し合ったりして、自分たちでチームを作ってきたことが実を結び、天皇杯福島

主将 小柳 秀康



天皇杯サッカー県予選優勝！

ノーザンピークス郡山のメンバー

ポジション	氏名	年齢	勤務先	卒業年度・科
監督	松立 文雄	52	デイリーヤマザキ	S43西工機械
GK	鈴木 晃	22	㈱三和油脂	H11年度機械
DF	岡部 透	25	㈱岡部源鉄筋	H8年度建築
DF	小柳 秀康	26	㈱三和油脂	H7年度電子
DF	七海 勝行	22	㈱三鈴商事	H8年度化工
DF	渡辺 靖	25	㈱日産部品販売	H11年度情報
MF	伊勢野 司	22	郡山養護学校	H8年度電子
MF	阿久津公宏	22	むらかみ接骨院	H11年度情報
MF	松本 彦太郎	25	県自動車整備振興会	H8年度機械
MF	日下部 高之	25	日下部左官工業	H8年度化工
MF	遠藤 貴之	25	㈱福島水処理	H8年度機械
FW	水野 重利	26	㈱信和建設	H7年度建築
FW	荒木 孝太	22	㈱日本化学工業	H11年度化工
MF	田村 和幸	25	㈱田村板金工業	H8年度化工
MF	宗 像 洋	26	㈱シンワ	H7年度電気
MF	松立 淳	20	㈱三和油脂	H13年度環境
GK	中川 正樹	25	郡山北工業高校	H8年度機械
DF	田村 貴史	25	㈱東北日産ディーゼル	H8年度機械
DF	本多 伸吾	22	㈱高瀬物産	H11年度機械
FW	松立 圭介	24	㈱三鈴商事	H9年度機械
FW	森田 秀光	22	㈱福友建設	H11年度環境
MF	上田 俊夫	25	㈱ヤスタ創建	H8年度機械
DF	松立 康平	26	㈱大和電設工業	H7年度情報
MF	磯貝 和樹	19	㈱サイト	H14年度化工
DF	阿部 真一	19	㈱フシマン	H14年度機械

一生懸命活動しております。ご支援いただける方がいらっしゃいましたらぜひご協力をお願いいたします。

チームに関するお問い合わせは郡山北工業高校 中川正樹 まで



同窓会副会長より 激励金の授与

優勝祝賀会

県大会優勝という成績を残せた要因だったと思います。チームを強くするためにどうすればよいか、一人一人がチームという事を考え、強くしようと努力しました。年齢は違うが、同じ校舎で学び、同じグラウンドで汗を流したその北工サッカー部のOBだったからこそ1つの大きなチームになることができたのだと思います。これからもチーム一丸となり、新たな目標に向かってがんばりたいと思います。最後に、天皇杯や各試合で応援していただいた方々、北工サッカー部の関係者、サッカー部OB会、そして家族に感謝申し上げます。

生徒会だより

今年度の生徒会活動状況を報告します。

5月上旬に行われた生徒総会では、新たに硬式テニス愛好会が承認されました。

5～6月に行われました高校総体では多くの部活動が県大会、さらに上位大会へと出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

7月には校内球技大会が行われました。あいにく2日目が雨に見舞われ急ぎよ種目を綱引きに変更しましたが、白熱した試合を繰り広げました。手のまめを潰しながらも全力で綱を引き合う姿には、普段の授業では見られない真剣さとエネルギーを感じることができました。また、全国高校野球選手権福島県大会では、全校生徒で開成山に応援に行きました。天候にも恵まれ全校生徒の熱のこもった応援で力を得たのか接戦をものにした。

9月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長に建築科2年の平澤秀一が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切ることとなりました。

まず取り組んだのは、十一月に行われたミニ文化祭でした。今回は学校公開期間中の一日を割り当てました。学校公開は広く一般の人たちに学校へ来ていただき、普段の授業や学校行事を見ていただくという取り組みです。この公開中にミニ文化祭、文化部及び各科の展示を計画し、生徒会役員たちも放課後遅くまで慣れない準備作業に苦勞しながらも何とか成功裏に終えることができました。今回の経験は本番の北嶺祭に必ず役立つと信じています。

十一月には高校サッカー選手権福島県大会が行われ十七年ぶりに決勝進出となりました。決勝戦は運動部を中心に応援団を結成し、寒風の吹く中寒さも忘れるほどの応援合戦が繰り広げられました。残念ながら優勝は逃しましたが、来年は必ず優勝してくれるものと期待しています。

今年度を振り返ると、文化部、運動部ともに活躍が目覚ましく、今年度赴任された根本源太郎校長が年度当初に掲げた「輝く北工」のとおり、様々な分野で生徒たちは輝いてきたと思います。

来年は三年に一度の文化祭「北嶺祭」が開催されます。生徒会一同全力で取り組みたいと思います。その節は是非ともご来場いただき、輝いている北工生を見ていただきたいと思います。

鋼板加工販売



株式会社 **進興スチール**

代表取締役 **橋本幸二**
(昭和40年度建築科卒)

〒963-8824 福島県郡山市字道場157番3
TEL024-944-6784
FAX024-944-6836

株式会社 **浅野工業**
ASANO KOGYO CO., LTD.

代表取締役 **浅野利次**
(昭和40年度建築科卒)

〒963-8846 郡山市久留米3丁目149番地の2
TEL 024-946-8110
FAX024-946-8120

来年は三年に一度の文化祭「北嶺祭」が開催されます。生徒会一同全力で取り組みたいと思います。その節は是非ともご来場いただき、輝いている北工生を見ていただきたいと思います。

平成15年度		部活動大会成績報告	
陸上部			
・第49回福島県高等学校体育大会	4×100mリレー (大須賀・上田・小島・佐藤裕) 第1位 走幅跳び 佐藤裕二 第3位 棒高跳び 大橋潤嘉 第3位	・第58回東北高等学校陸上競技大会	4×100mリレー (大須賀・上田・小島・佐藤裕) 第2位 インターハイ(長崎) 棒高跳び 大橋潤嘉 第8位
・第43回福島県高等学校新人体育大会	4×100mリレー (大須賀・小松・橋村・上田) 第2位 200m 上田和弥 第2位 400m 上田和弥 第2位 110mH 大須賀大輔 第2位 500mW 佐藤祐作 第2位 棒高跳び 大橋潤嘉 第1位	・第8回東北高等学校新人陸上競技選手権大会	4×100mリレー (佐藤康・上田・橋本・小松) 第6位 棒高跳び 大橋潤嘉 第1位
バレーボール部			
・第49回福島県高等学校体育大会	第3位	・第43回福島県高等学校新人体育大会	優勝
サッカー部			
・第82回全国高等学校選手権福島県大会	準優勝		
柔道部			
・第49回福島県高等学校体育大会	男子個人 90kg級 内海裕紀 ベスト8 男子個人 66kg級 高橋貴大 ベスト8 女子個人 52kg級 矢部昌美 ベスト8	・第43回福島県高等学校新人体育大会	女子個人 52kg級 矢部昌美 ベスト8
ソフトボール部			
・第49回福島県高等学校体育大会	優勝	・東北高等学校選手権大会	準優勝
・第43回福島県高等学校新人体育大会	優勝		
ラグビー部			
・第56回福島県総合体育大会	準優勝		
野球部			
・郡山市長旗杯争奪高等学校野球大会	準優勝		
ソフトテニス部			
・第49回福島県高等学校体育大会	男子団体 ベスト8	・第43回福島県高等学校新人体育大会	男子個人 吉田・永澤組 準優勝
弓道部			
・第43回福島県高等学校新人体育大会	団体 優勝		
水泳部			
・福島県高等学校体育大会	200m平泳ぎ 遠宮啓太 第3位 1500m自由形 宗像浩和 第1位 200mバタフライ 磯貝啓太 第1位 400m自由形 宗像浩和 第3位	・福島県高等学校新人体育大会	200m平泳ぎ 遠宮啓太 第3位 1500m自由形 宗像浩和 第1位 200mバタフライ 磯貝啓太 第1位 400m自由形 宗像浩和 第3位
スピードスケート部			
・第49回福島県スケート競技	5000m 鈴木洗翔 第1位 10000m 佐藤健司 第2位 鈴木洗翔 第1位 佐藤健司 第2位	・第15回東北高等学校スケート競技選手権大会	3000m 鈴木洗翔 第5位
囲碁将棋部			
・第27回全国囲碁選手権大会福島県大会	団体戦 (遠藤・渡邊・木村) 優勝 個人戦 遠藤裕起 準優勝		
機械部			
・第15回全日本ロボット相撲大会10kg級全国大会	郡司雅之・武藤貴行 ベスト8		
機械科			
・パソコン甲子園2003 CGコンテンツ部門	関野政隆・小山洋平 第3位		
情報技術科			
・平成15年度全国高校生・専門学校プログラミングコンテスト	橋本賢治 最優秀賞	・第24回全国高等学校プログラミングコンテスト	渡辺未希・渡邊香織・大橋春香・渡邊 輝 優秀賞

進路状況

「依然として厳しい就職」

進路指導主事 二瓶賢一

本校生徒の進路状況は、昨年と同様の割合で、約150名が進学希望（四年制大学70名・高専等30名）、約210名が就職希望（公務員10名）となっています。

一月末現在の進路内定状況に關しては下の表の通りです。

進学に關しては、入試制度がAO入試等多様化し、専門学科に關する興味関心や意欲を評価する傾向が強まり、やや門戸が広がりました。また、大学進学に關しても国公立大学志願者が増え、新潟大学・山形大学に合格しました。昨年同様に地元志向も強く日本大学工学部には26名合格しました。

就職に關して、高校生の内定率が依然厳しいとマスコミで報道されています。福島県の12月末の就職内定率は66%でしたが、本校は約83%でした。県平均は上回りましたが、本校にとっても厳しい内定率でした。

内定率低下の原因は、経済状況の先が見えないことによる求人減少です。求人が少ないため競争も激しくなりました。

昨年より就職の申し合わせが少し変わり、応募前の職場見学や条件付ですが複数応募も可能になりました。また、インター

ネットによる求人票公開も始まりました。本年は、生徒の職業観・勤労観の育成のため2年生全生徒がインターンシップを行いました。受け入れていただいた事業所においては同窓会の皆様は大変お世話になりました。

進路指導部では、企業見学会・企業訪問・ビジネスセミナー講座等を実施して生徒に合格できる実力をつけさせるよう指導してきました。

また、県の就職促進支援員も本校に常駐し、求人開拓や就職支援にあたっています。

生徒全員が、卒業後の進路に希望を持ち、卒業することを願っています。

同窓会各位には進路活動の様々な場面でいろいろとお世話になっております。今後とも協力をお願いいたします。

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部
平成16年 1月30日現在 ()は女子内数

平成15年度進路内定状況

科	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計							
在籍数	80	39	39	(2)	40	(7)	40	(8)	40	(10)	78	(21)	356	(48)	
就職希望者数	40	29	23	(2)	20	(6)	18	(4)	26	(8)	52	(16)	208	(36)	
就職内定数	県内	27	22	18	(2)	13	(5)	13	(4)	12	(3)	35	(11)	140	(25)
	県外	8	4	3	(0)	2	(0)	3	(0)	2	(0)	6	(2)	28	(2)
	公務員	1	1	1	(0)	3	(0)	0	(0)	1	(0)	3	(0)	10	(0)
縁故・自営等	1	0	1	(0)	1	(1)	1	(0)	2	(1)	1	(0)	7	(2)	
合計	37	27	23	(2)	19	(6)	17	(4)	17	(4)	45	(13)	185	(29)	
就職未定者	3	2	0	(0)	1	(0)	1	(0)	9	(4)	7	(3)	23	(7)	
進学希望者	39	10	16	(0)	20	(1)	22	(4)	14	(2)	26	(5)	147	(12)	
進学者数	大学	16	5	4	(0)	6	(0)	10	(2)	4	(0)	11	(1)	56	(3)
	短大	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(1)	1	(1)	1	(1)
	準大学	1	0	0	(0)	0	(0)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	4	(0)
	訓練校	7	2	1	(0)	1	(0)	3	(1)	3	(0)	1	(0)	18	(1)
	専門	10	2	3	(0)	9	(1)	4	(1)	4	(1)	6	(1)	38	(4)
合計	34	9	8	(0)	16	(1)	20	(4)	11	(1)	19	(3)	117	(9)	
進学未定者	5	1	8	(0)	4	(0)	2	(0)	3	(1)	7	(2)	30	(3)	
その他(不定)	1	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	
総計	80	39	39	(2)	40	(7)	40	(8)	40	(10)	78	(21)	356	(48)	

求人件数(求人票枚数)

県内	366	県外	337	合計	703
----	-----	----	-----	----	-----

進路内定率

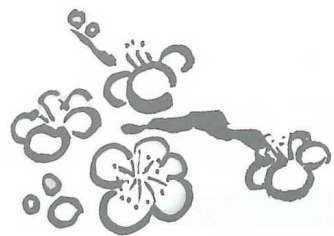
就職	88.9%	大学進学	81.2%	短大その他	78.2%
----	-------	------	-------	-------	-------

産業別内定状況

科	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計
建設 09~11	2	0	5	1	0	0	0	8
製造 12~34	21	4	9	0	12	3	10	69
電気ガス 35~38	0	0	1	2	1	0	0	4
運輸通信 39~47	0	3	0	0	2	0	0	5
卸・小売 48~61	3	1	3	1	0	0	2	10
金融保険 62~69	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス 72~96	2	0	4	0	4	0	2	12
公務 97~98	0	1	1	0	1	0	2	5
合計	28	9	23	4	20	3	16	103

4年制大学合格状況(過去3年間)

大学名	平成13年	平成14年	平成15年
山形大学工学部		1	1
新潟大学工学部			1
横浜国立大学工学部	1		
会津大学	1		
函館大学	1		
青森大学		1	1
八戸大学		1	1
八戸工業大学	2	1	1
石巻専修大学工学部			1
東北工業大学	2	4	2
東北学院大学	1	1	1
東北福祉大学		1	1
仙台大学			2
日本大学工学部	20	25	26
日本女子大学(短期部)	1		1
いわき明星大学	8	1	
東日本国際大学		2	
常盤大学	1		
白鷲大学	1		
足利工業大学	2	1	1
西武文理大学	1		
日本工業大学	7	3	10
東洋大学工学部	1		
金沢工業大学工学部			1
尚美学園大学	1		
国際武道大学	1		
玉川大学工学部	1		
東京電機大学	2	1	
群馬社会福祉大学			1
城西国際大学			1
日本体育大学		1	
関東学院大学	1	1	
関東学院大学	1		1
中央学院大学	1		
大正大学		1	
拓殖大学	1		
城西大学		1	
神奈川工科大学		1	
長野大学	1		
新潟工科大学		1	
静岡産業大学		1	
中京学院大学		1	
洗足学園音楽大学			1
湘南工科大学工学部			2



平成14年度 決算報告書

1 収入総額 7,046,861円 2 支出総額 6,351,432円 3 差引残高 695,429円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増 △減	備考
繰越金	1,975,708	1,975,708	0	
入会金	2,160,000	2,166,000	6,000	入学生361人×6,000
会費	2,286,000	2,274,000	△12,000	卒業生379人×6,000
会誌広告料	200,000	259,475	59,475	13社
一般寄付	100,000	347,243	247,243	
雑収入	1,000	24,435	23,435	利子 総会残金
合計	6,722,708	7,046,861	324,153	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	増 △減	備考
基本金	444,600	444,000	600	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	586,673	△86,673	三役会 幹事会
事務費	150,000	143,115	6,885	プリンターのインク・トナー代
慶弔費	250,000	79,000	171,000	お見舞い ご祝儀
通信費	1,800,000	3,208,325	△1,408,325	会誌(52号・53号)送料等
旅費	200,000	203,120	△3,120	本部・東京・日立・水戸
会誌編集費	800,000	696,990	103,010	会誌(53号)印刷
渉外費	150,000	100,610	49,390	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	300,000	266,053	33,947	卒業記念品 会長賞
事務局費	160,000	160,000	0	事務局手当
北嶺祭	0	0	0	
支部助成金	100,000	70,000	30,000	日立支部
学校案内助成	100,000	99,750	250	学校案内印刷
総会会費	500,000	293,796	206,204	総会補助
次年度準備金	1,268,108	0	1,268,108	通信費に流用
合計	6,722,708	6,351,432	371,276	

3.差引残 ¥695,429は次年度へ繰り越します。

平成14年度 基本金報告書

定期預金	4,133,312	大東銀行定期預金
平成14年度入会金・会費の1割	444,000	大東銀行定期預金
合計	4,577,312	

上記の通り報告いたします。

平成15年3月31日 郡山北工業高等学校同窓会 会長 増子 久治

平成15年4月3日の監査の結果異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大 印
中村 弘 印
笹山 忠 昭 印

平成14年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H14 4	同窓会報(52号)発送		
4. 9	入学式	会長・副会長	学校
4.12	幹事会	平成14年度定期総会について	ホテルはまつ
5.31	幹事会	平成14年度定期総会について	龍宮城
6.22	平成14年度定期総会		郡山ビューホテル アネックス
7. 5	日立支部総会	教頭、副会長、事務局 計4名出席	ひたちなか市
9.24	三役会	新役員顔合わせ兼総会反省会について 今後の活動方針について	龍宮城
10. 4	幹事会	新役員顔合わせ兼総会反省会	郡山ビューホテル アネックス
11.15	幹事会	今後の活動方針について	ホテルはまつ
H15 2.28	同窓会入会式	会長・顧問	学校
3. 1	第26回卒業式	会長・副会長	学校
3	同窓会報(53号)発送		
4. 3	会計監査	平成14年度会計	龍宮城

平成14年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年9月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成15年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 2,941名 電気科 2,084名 電子科 1,037名 情報技術科 957名 建築科 1,031名 環境システム科 227名 化学工学科 1,990名 工業化学科 83名
定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名		定時制 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 10,940名
		合計 20,747名

職員異動報告

平成15年度人事異動にともなう転入者

No.	教科	職名	氏名	前任校
1		校長	根本源太郎	二本松工業高校
2		教頭	高橋春光	平養護学校
3	家庭	教諭	國分美代子	須賀川高校
4	情報	教諭	大森宏昭	清陵情報高校
5	機械	教諭	山口真二	福島工業高校
6	機械	教諭	阿部文康	清陵情報高校
7	電子	教諭	西村修一	勿来工業高校
8	環境	教諭	江原進	福島工業高校
9	機械	教諭	佐藤泰仙	二本松工業高校
10	理科	教諭	小泊啓子	新地高校
11	情報	教諭	佐藤孝則	喜多方工業高校
12	数学	教諭	鈴木貴人	
13	保体	教諭	永井一弘	長沼高校
14	機械	教諭	齋藤清夫	郡山北工業高校
15	化工	実習助手	丹野智春	二本松工業高校
16	数学	常勤講師	渡辺喜春	白河旭高校
17	国語	常勤講師	坪井研	星陵高校
18	保体	常勤講師	中川正樹	郡山市立二瀬中学校
19	美術	常勤講師	鈴木佳也子	光南高校
20	化学	常勤講師	石井洋子	小高工業高校
21	英語	常勤講師	目黒一男	光南高校
22	家庭	常勤講師	八代きぬ子	あさか開成高校
23	事務	主任主査	福吉英信	須賀川土木事務所
24	事務	主任学校司書	村上明子	二本松工業高校
25	事務	主任行務	相良正行	あさか開成高校
26	事務	事務補助員	加藤友美	

平成14年度人事異動にともなう転退職者

No.	教科	職名	氏名	転出先
1		校長	秋葉史裕	退職
2	数学	教諭	本田浩	退職
3	保体	教諭	石井洋一	退職
4	機械	教頭	齋藤清夫	退職
5	電子	教諭	滝田浩	退職
6	情報	教諭	佐久間貞治	退職
7		教頭	松崎 肇	猪苗代養護学校
8	家庭	教諭	五十嵐とし子	本宮高校
9	化工	教諭	若菜靖彦	福島工業高校
10	機械	教諭	二瓶益幸	二本松工業高校
11	電子	教諭	吉田 健	二本松工業高校
12	電気	教諭	高橋純子	二本松工業高校
13	機械	教諭	佐藤浩正	教育センター
14	環境	教諭	田中 潔	塙工業高校
15	情報	教諭	加勢 宏	清陵情報高校
16	理科	教諭	齋藤 靖	福島東高校
17	化工	教諭	大河原 茂	会津工業高校
18	化工	実習助手	山口賢子	福島工業高校
19	社会	教諭	伊藤 洋	退職
20	機械	教諭	橋本 浩	退職
21	機械	教諭	永澤照伊	退職
22	数学	常勤講師	西勝文夫	退職
23	情報	常勤講師	佐藤直行	退職
24	建築	実習助手	山野辺幸吉	退職
25	家庭	時間講師	佐藤真紀	退職
26	保体	時間講師	渡邊 亮	退職
27	美術	時間講師	二階堂恵子	退職
28	事務	主任主査	齋藤善雄	税務システムグループ
29	事務	主任学校司書	村田敬子	船引高校
30	事務	主任行務	吉田健一	石川高校
31	事務	事務補助員	杉山亜矢	退職

新しい印刷

伝わるコミュニケーション
=新しい印刷を育てていきます。

ヨシダグループは、今年も「新しい印刷」を合い言葉に
お客様に満足いただけるサービスと製品提供に取り組みます。

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

株式会社ヨシダコーポレーション
本社 / 〒963-0724 郡山市田村町上行合字川田22-1
☎(024)942-0005 FAX (024)942-2233

<http://www.media-yoshida.co.jp>

平成15年度 同窓会役員名簿

役職名	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田 英一	前県議会議員	
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡 24 機
顧問	先崎 一郎	(株)東北エンタープライズ	郡 31 機
会長	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡 42 定電
副会長	滝田 孝太郎	(株)ワールドジャーナル	西 42 電
副会長	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡 40 建
副会長	添田 善一郎	(有)ソエタ自動車	北 53 工化
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡 26 機
監事	笹山 忠昭	ヒツマテリアル(株)	北 53 機
監事	中村 弘	郡山演劇鑑賞会	西 49 電
幹事	清水 善一	(株)清水工業	郡 31 機
幹事	落合 弘	東陽工業(株)	郡 32 機
幹事	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡 33 建
幹事	泉田 定信		郡 34 電
幹事	角田 達郎	富田行政センター(市役所たぐみ会長)	郡 37 機
幹事	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡 39 定機
幹事	白石 勝太郎	(株)大東銀行事務部	郡 39 定機
幹事	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡 40 定機
幹事	関根 孝良	福島工業高等学校	郡 41 工化
幹事	大内 孝	宇部日東化成(株) (ハレ)	郡 42 電
幹事	橋本 正喜	中国レストラン龍宮城	西 42 機
幹事	田母神 三知	福島県立聾学校	郡 43 機
幹事	伊勢野 敏雄	(株)うすい百貨店	西 43 電
幹事	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西 43 工化
幹事	佐久間 保一	結建築研究室	郡 46 建
幹事	遠藤 公平	郡山市役所清掃課	西 46 機
幹事	矢部 重光	埼玉工業高等学校	郡 48 子
幹事	熊田 志郎	勿来工業高等学校	郡 49 工化
幹事	柳沼 信一	(有)県南通信サービス	西 49 電
幹事	佐々木 郁雄	福島工業高等学校	西 50 機
幹事	西館 丈志	JR東日本(株)	西 50 機
幹事	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡 51 定電
幹事	吉田 典秀	林精器製造(株) (野球)	北 52 機
幹事	本田 文一	会津工業高等学校	北 52 子
幹事	小松山 伸一	郡山地方広域消防組合 (野球)	北 53 機
幹事	長尾 進	福島トヨタ自動車(株)	北 53 機
幹事	吉成 広幸	JT郡山工場	北 53 機
幹事	斎藤 均	JT郡山工場	北 53 機
幹事	長谷川 光一	福島トヨペット(株)	北 53 電
幹事	榎山 哲男	(株)テックス	北 53 工化
幹事	吉田 均	東部液化石油(株)	北 53 工化
幹事	大原 英雄	(株)広田薬品	北 53 化工
幹事	影山 春男	清陵情報高等学校	北 56 電
幹事	浦井 照夫	清陵情報高等学校	北 59 機
幹事	國道 美行	清陵情報高等学校	北 59 機
幹事	加藤 弘平	(株)龍森 郡山工場	北 59 化工
幹事	佐藤 伸宣	関影商事(株) (サッカー)	北 61 化工
幹事	渋谷 健夫	(有)シンプヤ	北 62 機
幹事	今泉 健太郎	(株)香設計	北 1 機
企業内支部長	三本 木覚	(株)朝日ラバー	北 62 機
企業内支部長	大谷 元宏	(株)アルゴ研究所	北 53 子
企業内支部長	橋本 誠	石橋工業(株)	郡 37 機
企業内支部長	宗像 文雄	(株)エディオン	郡 50 電
企業内支部長	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北 52 工化
企業内支部長	本田 昇意	コマツ福島(株)	北 54 機
企業内支部長	七海 健一	(株)ザイン	北 55 機
企業内支部長	熊田 晃大	白沢建設(株)	北 54 建
企業内支部長	佐藤 芳晴	須賀川プレジジョン(株)	郡 49 機
企業内支部長	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北 11 電
企業内支部長	安斎 文男	テレコム機器(株)	西 41 電
企業内支部長	有賀 智輝	(株)東北エンタープライズ	北 1 機
企業内支部長	遠藤 清	(株)内藤工業所	西 43 電
企業内支部長	千葉 利行	日本化学工業(株)	西 42 電
企業内支部長	柳沼 幸代	八光建設(株)	郡 51 建
企業内支部長	青木 博泰	林精器製造(株)	北 52 機
企業内支部長	岩崎 洋一	(株)ホテルはまつ	北 61 建
企業内支部長	今泉 恵一	ヤマキ電気郡山事業所	北 54 電
企業内支部長	菅井 貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西 46 化工
事務局 長	渡辺 正一	郡山北工業高等学校	郡 49 工化
事務局 次長	浦山 敏	郡山北工業高等学校	北 52 機
事務局 次長	片岡 宏記	郡山北工業高等学校	北 58 化工
会計	達崎 守	郡山北工業高等学校	西 40 電
事務局 員	柳沼 善久	郡山北工業高等学校	郡 51 子
事務局 員	小野 一夫	郡山北工業高等学校	北 54 化工

同窓会支部長

東京支部	小池 芳光	(株)興栄製作所	郡 27 機
日立支部	古川 秀康	(株)日立製作所 原子力事業部	郡 41 機
水戸支部	八代 正雄		郡 34 電

平成15年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

氏名	卒年度科	氏名	卒年度科
古榎山和男	神奈川 郡 26 機	富塚 一三	岩瀬村 郡 26 機
橋本 定樹	船引町 郡 45 機	遠藤 神雄	埼玉 郡 31 建
渡辺 好広	神奈川 西 51 機	横田 陸夫	岩手 郡 32 建
菅野 輝夫	大越町 北 62 電	鈴木 久	郡山 北 57 電
高原 三郎	愛知県 郡 27 機	石井 孝	茨城 郡 37 電
伊藤 孝雄	郡山 郡 31 機	渡邊 義人	埼玉 郡 29 機
植木 薫	東京都 郡 43 電	渡辺 英夫	郡山 北 63 建
桑原 久祐	郡山 北 52 子	山尾 和幸	郡山 北 13 化工
山崎 功	茨城 郡 29 機	八代 正雄	茨城 郡 34 電
渡辺 孝雄	郡山 郡 37 機	箭内 邦夫	船引町 郡 38 建
井上 安邦	神奈川 郡 40 建	酒井 利夫	神奈川 郡 47 建
影山 光雄	二本松市 北 55 子	柴崎 俊二	神奈川 北 55 建
佐藤 哲也	須賀川市 北 63 化工	坂野 勇一	東京 郡 23 機
市川 莞爾	広島 郡 38 子	鈴木 亮一	郡山 北 55 化工
田中 良夫	栃木 郡 41 機	蛇石 重子	郡山 北 61 化工
儀岡 照栄	船引町 郡 48 機	伊藤 雅紀	三重 北 62 電
伊藤 紀夫	東京 郡 43 電	和泉 武	福島 郡 37 機
福内 瑞男	神奈川 郡 33 機	菅野 弘士	神奈川 郡 34 機
吉田 義光	須賀川市 郡 47 機	竹中 広之	郡山 北 50 定電
佐藤 勇	神奈川 北 52 電	鈴木 一正	宮城 郡 31 建
凌木 謙生	郡山 郡 27 機	畑 吉春	東京 郡 29 機
北嶋 寿男	小野町 郡 31 機	関 勝彦	千葉 郡 40 機
川合 一郎	神奈川 郡 31 機	吉田 喜美夫	神奈川 郡 31 機
鈴木 宏尚	神奈川 北 56 機	土生 光浩	郡山 北 62 子
馬場 淳三	東京 郡 37 建	先崎 一郎	郡山 北 31 機
渡辺 正春	千葉 郡 48 建	荒木 勉	茨城 郡 36 機
吉田 良毅	栃木 郡 31 機	小池 征男	茨城 郡 34 機
鈴木 彰宏	宮城 郡 48 機	郡工昭和43年度建築科卒業生有志	
宮地 勝徳	福井 郡 46 工化	柏原 信夫	千葉 郡 39 電
村越 栄二	埼玉 北 52 子	笹島 貞夫	いわき市 北 61 子
吉成 誠一	千葉 北 62 機	鈴木 良明	小野町 西 44 電

本年度も昨年同様に一般寄付をお願いいたしましたところ、多くの方々よりご寄付を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせていただきます。

平成13年度に2万名を越えた卒業生は、平成15年度には2万1千名を越えます。一方在校生は、平成12年度には1学年10クラス、全校で30クラスであったものが、平成13年度入学生から電気科が1クラス減、さらに平成15年度入学生から化学工学科が1クラス減となり、平成15年度は全校で26クラス、平成17年度には24クラスまで減ることになっています。これに伴い同窓会の主たる収入である会費、入会金が減ることもまた必至です。このような状況ですので、本年度もまた同窓生の皆様にご寄付のご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。

ご寄付いただける方は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄をご記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願いいたします。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が会費を納入する場合にもご使用いただけます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○をつけて払い込み下さるようお願いいたします。

総会風景



ゴルフコンペ

ゴルフコンペのご案内

- 平成16年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。
- 日 時：平成16年6月12日(土)
- 定 員：60名
- 申 込：コンペ幹事

橋本正喜(中国レストラン龍宮城 024-946-3171)
渡辺正一(同窓会事務局 024-932-1199)



事務局だより

転居や地番の変更等で、毎年発送した同窓会報のうちの100から200通が事務局に戻ってきてしまいます。身近に郡工・西工・北工の卒業生で同窓会報が届かないという方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さるよう声をかけてみてください。ハガキにて、お名前、旧姓、卒業高校(郡工・西工・北工)、卒業年度、課程(全日制・定時制)、卒業科、現住所をお知らせいただければ、次回から同窓会報をお届けするようにいたします。またeメールを使用している場合は、郡山北工業高校ホームページの同窓会のコーナーをごらん下さい。アドレスは表紙に記載してあります。

●企画 ●設計 ●監理

有限会社 古川 弘 建築設計室
一級建築士事務所

代表取締役 管理建築士 **古川 弘**
[昭和40年度建築科卒]

〒963-8831 郡山市七ツ池町18-8
TEL (024) 925-5800 FAX (024) 925-5840
(社) 福島県建築設計協会正会員・(社) 福島県建築士会正会員

(株)ワールドジャーナル

滝田 孝太郎
(昭和42年 電気科卒)

福島支社 〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字神明50
TEL (024) 945-0793
営業本部 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目10-11
TEL (03) 3278-8587
本社 〒862-0950 熊本市水前寺町6丁目42-10
TEL (096) 382-3830

民間車検場
車のコンサルタント

SINCE 1992
CAR SERVICE SHOP
Soeta
The garage you can trust for reliability and high quality

車のことなら おまかせください

各種新車・中古車販売・車検整備
板金・焼付塗装
クレーン・レッカー作業

有限会社 ソエタ自動車
代表取締役 添田善一郎

〒963-1304 郡山市熱海町安子島字対面1-27
TEL (024) 984-3350
FAX (024) 984-3123

HIT'S シーリング・防水資材販売
MATERIAL CO., LTD. 省力化機器設計、製作

ヒツマテリアル株式会社

代表取締役 **笹山 仁**
常務取締役 **笹山 真宏** (西51電)
専務取締役 **笹山 忠昭** (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 **増子 久治** (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎(024)945-2882(代) FAX(024)946-2875

ご宿泊にご会食に是非ご利用ください

(024) 924-1111
郡山ビューホテル
福島県郡山市中町3-1 〒963-8004
http://www.viewhotels.co.jp/koriyama

(024) 939-1111
郡山ビューホテル アネックス
福島県郡山市中町10-10 〒963-8004
http://www.viewhotels.co.jp/koriyama_annex